

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和3年7月29日
伊丹市長 藤原 保幸

兵庫県内でのこの1か月間の感染状況の推移を見ますと、7月第1週の1日当たりの新規感染者数は28.0人であったのに対し、7月22日には感染者が149人と100人を大きく超え、7月27日には260人、28日には254人を数えています。更に、最近の感染者の内訳を見ますと、6割が30歳代以下であり、感染経路としては家庭内が多数を占めるなど、第5波への懸念がますます広がっています。

こういった状況を受け、兵庫県は国に対して「まん延防止等重点措置実施区域」の指定を要請するとともに、8月1日から引き続き、飲食店等に対し、現在と同じ内容の時短要請を行うことを決定しました。

しかしながら、8月1日以降には新知事の下で「兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部会議」の開催が予定されており、伊丹市に対するまん延防止の重点措置が予測されます。これにより、飲食店や施設の使用・イベント等の制限が厳しくなることが見込まれます。市民の皆さまにおかれましては、国や県・市が提供する正確な情報を入手し、冷静な行動に努めていただきますようお願いいたします。

また、ワクチン接種の機会を積極的にご活用いただきながら、不要不急の外出、特に東京等感染拡大地域との往來の自粛にご協力ください。また家庭内であっても会食などリスクの高い行動の自粛や、マスク着用、手洗い、消毒、換気等の基本的な感染対策の徹底などを改めてお願いいたします。